

2022 全然堂歳時記冬【短日】 20句

2022年12月28日発 10行2段12ポ桐10

短日…音読みはタンジツといふ短き日 短日の人の消え行く映画館  
日短…ジツタンに非ずひみじかとぞ読めり 短日の塩壺と塩まみれの手  
入れ替へてみても短日、日短葱細く大根太く日短  
言葉さへ躡くやうに日、みじか短日や輪ゴム二重にして堅し  
一年の尻尾の如き短き日 短日やどんなに晴れてゐる空も  
数へるにしても短日ばかりなり 短日のせめては夕焼色を濃く  
大いなる山を眠らせ日短 短日を詫びるが如くビル灯る  
一年を省みるにも日の短か 短日の終点にゐる電車かな  
行く年を惜しみ短日を嘆くなり 去る者は追はず短き日なりけり  
一億二千万人の短き日 短日の寒さなんぞと言はれけり



peace!



短日||たんじつ  
日短||ひ、みじか



ハードマン

2022.12.28

2023 全然堂歳時記冬 【小春】 20句

2023年11月23日発 10行2段12ボ桐10

小春日の遠くに雪の富士の山百獣の王の瞑目小六月  
小春日の既に一句を得し思ひ小春日の膝の日差や猫が邪魔  
小春日のそれは小さなエピソード小春日和洗濯日和鴟日和  
小春日に立つは西向く土か小春日に飛んで小虫の行方かな  
こんなにも小春日和の続くとはなにか良きことへ小春の蟻の列  
階段を拭いて降り来る小春かな切株の丸くて小春日和かな  
座布団や小春日和の人を待つ散り残る桜紅葉の小春かな  
ははそはの母に母ある小春かな小春日や枯れ行く草を暖めて  
小春日や勝利の如く婆二人小春日の緑の抜けし草の色  
耳搔の先がくるつと小六月懐しき落選展の小春かな



peace!



こはる  
小六月こころくがつ  
を含む

2023.11.23

2021 全然堂歳時記 冬【春待つ】

20句

2021年2月3日発

10行2段12ポ桐9

千枚の冬田積み上げ春を待つ 春を待つものの日あたり風あたり  
春よ来い雪の帽子を打ち捨てて 春を待つ暗渠の上のプランター  
春を待つことにも慣れし齡かな 細き枝を長く伸ばして春を待つ  
何よりも春待つ心大切に 春を待つものの静けさ百花園  
わが家築三十余年春を待つ 御仏に春待つ花を奉る  
春を待つ待合室に名を呼ばれ 生きてゐる人の白息春を待つ  
美しき蝶になる夢春を待つ 寒紅も春待つ色に潤みをる  
春待つや猫より小さき箱に猫 布巾掛け三方に伸び春を待つ  
春を待つ百獣の王その妻子 寒卵割つて明るい春を待つ  
春待つや種を預る茶封筒 表面はかりりと焼けて春を待つ



全然堂  
2021年2月3日

2022 全然堂歳時記冬【雪女】20句

2022年12月18日発 10行2段12ポ桐10

雪女軍馬に乗つて来りけり炭鉞で栄えし町の雪女郎  
伝令の鴉を肩に雪女遠ざかる火の用心や雪女郎  
御無念の殿に代りて雪女呉服屋の戸をどんどんと雪女郎  
火事跡の黒き柱や雪女深窓に血の滴るや雪女郎  
来ぬ人を白無垢で待つ雪女雪女郎ながす涙のガラス玉  
機織るは鶴にはあらず雪女雪女にひびあかぎれはなかるべし  
雪女もとより翼なかりけり寛いて一風呂あびよ雪女  
足跡に葦咲きけり雪女雪女ゆきぢよとなりてゲレンデに  
文書くや友の中なる雪女窓の雪女体にて、あれ雪女  
もう追つて来るなと諭す雪女「たすけて」ととけはじめたる雪女



peace!



雪女郎を含む

Hi-universe 2022.12.18

Hi-uni 10B

おでん屋の屋根が階下に見ゆるかな おでん酒おでんの人に寄り添ひぬ  
おでん屋の小さな屋根も積り初む もれいづる光と声とおでんの香  
おでん屋の種を豊かに港町 おでん屋のテレビに「地球最後の日」  
おでん屋の前を通りぬ通夜帰り 自らの出汁も効かせておでんの具  
おでん屋を守るが如く背が並ぶ ぷかぷかとおでんに遊ぶ茹卵  
おでん屋のビニール囲ひごはごはと 貧しさと違ふ寂しさおでん酒  
おでん屋の背後を通る灯の電車 酔へば良くしやべることよのおでん酒  
おでん屋の裏へ廻りし刑事二人 これしきのおでんの酒に酔ひつぶれ  
日めくりも寂しくなりぬおでん酒 おでん酒ぐびぐび飲んで寝るとせむ  
雪を来し人の饒舌おでん酒 おでん屋が明日の試合に早仕舞



ハードエッジ  
2021.1.31

2020 全然堂歳時記 冬

【着膨れ】

きぶくれ

16句

2020年12月30日発

8行2段12ポ 桐9

兎小屋当番の子の着膨れて着膨れの仏の顔も三度とや  
着膨れてゐても何かと駆け出す子 着膨れを蔑み立てるジャコメッテイ  
着膨れが泣いてじたばた床に寝て 着膨れて夜の火を守る五六人  
着膨れの三文安の子が可愛 宇宙船船外作業着膨れて  
着膨れて当り障りのない話 着膨れのままか一肌脱ぐべきか  
着膨れて毛並み良きもの翻し 手も足も出せず着膨れ懐手  
重ね着の雪より白き恋衣 重ね着を丸ごと脱いで湯に走る  
着膨れて我身一つのわが命 着膨れを囓すが如き上天気



毛

ハンドエッセイ

20201230



2022 全然堂歳時記冬

【セーター】

20句

2022年11月27日発

10行2段12ボ桐10

編棒の先セーターになるつもり  
セーターの母が写りし古写真  
セーターを裏に表に編み進む  
セーターを着てセーターを買ひに行く  
セーターを編むやこつくりこつくりと  
セーターの談笑美術館ロビー  
セーターの中より生れ来る頭  
セーターを着て危きに近寄らず  
セーターを嬰がひつぱる涎ふく  
セーターの前後左右と裏表  
ふはふはのセーター床を叩き泣く  
セーターの表の薔薇と裏の薔薇  
セーターの白を汚して元気な子  
セーターを開きにすればカーディガン  
セーターは白で金髪碧眼で  
潜るのがセーター羽織るのがカーディガン  
公園に白きセーター  
昼休 芭蕉なら緋のセーターを大枯野  
何話そセーターを編む母のそば  
セーターや芭蕉の齡とうに越え



peace!



モヒートユウジ 2022.11.27

七五三着飾るに良き寒さなり 九九すこしいへる子七五三十五  
七五三電車の中で褒めらるる 黒髪に挿せばちりりと七五三  
七五三詣 石段 石 畳 振袖の袖ふり廻す七五三  
石段に昨日の雨や七五三こつぼりの高きが嬉し七五三  
境内の日蔭ひんやり七五三初詣ほどには混まず七五三  
平日の三々五々の七五三尉と姥ふくろに笑めり千歳飴  
人生に階段いくつ七五三鶴亀も松竹梅も千歳飴  
神もまた素数を愛す七五三 ~~細く長く~~と蕎麦の長さの千歳飴  
胎内の次女も健やか七五三長きものフランスパンと千歳飴  
両の手を父母に与へて七五三舐めてみて千年甘し千歳飴



しちごさん

も ハートエッセンス 2021.11.15



【追儼】

ついな 16句

2020年2月2日発 8行2段12ポ桐9

石段の果の果なる追儼寺クレヨンの匂ひ追儼の鬼の面  
 古寺に古き鬼ありやらふべしぶらんこにもすべり台にも鬼は外  
 吊られある追儼の鬼の衣装なり鬼やらひ子鬼迷子となりにけり  
 鬼のごと追儼太鼓を打ち鳴らす暗闇に闇の渦巻く鬼やらひ  
 正月は賑やか節分は大声で豆撒くや見あげるやうな鬼の夜  
 赤憎し青恐ろしと鬼やらひ追はれたる鬼の行方や冬の月  
 赤鬼が白息を吐く追儼かな雪の上に追儼の豆の凹みかな  
 木石に木石の音豆を撒く逃れ来て春立つ朝の鬼ヶ島



節分 豆まき 鬼やらひ  
 立春を含む

2020年2月2日  
 20200202

リボンのやうな立体交差クリスマス きよしこの夜の湯たんぽ母と寝て  
エアメールサンタの櫓に追ひ越され 夢の世のコンビナートの聖夜かな  
歌ひつつ聖夜にふらす雪つくる 終電の後の聖夜の保線員  
ブランコに雪ふり初めしクリスマス 飛行機の次々飛べる聖夜かな  
地下鉄で行く地下街のクリスマス  
コロツケを売るをばさんのサンタ帽  
赤緑金銀ホワイトクリスマス  
客席に赤子の寝落つ聖夜劇  
包み紙破いてメリークリスマス  
肉を炙り聖夜の脂滴らす

赤緑金銀

ホワイト

クリスマス

毛  
ハードエンジン

2017  
1217

2019 全然堂歳時記

【クリスマス2】

20句

2019年12月25日発

10行2段12ポ桐9

世界一周豪華客船大聖樹  
クリスマスケーキ食べつつ賀状書く  
鹿がゐる奈良公園のクリスマス  
かつかつと聖夜の皿にナイフの音  
聖樹立つ寺の隣の幼稚園  
聖夜劇窓の外にも雪降らす  
ブランコを漕ぐ子にメリークリスマス  
雪の降る町の歌声クリスマス  
持てといふベリーメリーなクリスマス  
星の子となつて走れり聖夜劇  
残業のサンドイッチの聖夜かな  
泡立ててサンタの髭や子に分つ  
セーターの黒の華やぎクリスマス  
聖夜劇の天使の羽根を枕辺に  
西洋の純白クリスマスケーキ  
眠りたる子らにホワイトクリスマス  
凸凹に豪華にクリスマスケーキ  
メリークリスマス空飛ぶプレゼント  
切られても切られてもクリスマスケーキ  
少年の一人住む星クリスマス

④

ニートエッセ

2019  
12  
25

2022 全然堂歳時記冬【クリスマス3】

20句

2022年12月25日発

10行2段12ボ桐10

祈りとは聖樹の深き緑色 躓いて吾子も聖菓も泣き崩れ  
枯木にも電飾の綺羅クリスマス 切り分けて尖るケーキやクリスマス  
光りつつ風に抗ふ聖樹かな 過去現在未来とクリスマススイブと  
待つ人に後光の如く聖樹立つ クリスマスイブ居酒屋のアルバイト  
背の高いサンタクロース雪を来る 地下街を抜けて聖夜の雪の道  
恋人がくれば聖樹をあとにして 湯たんぽも聖夜の幸と言ふべかり  
ウインドの中にサンタゐ外にもゐ 真夜中のショーウインドやクリスマス  
紅白に着膨れてゐるサンタこそ 歳時記の次のページもクリスマス  
三角のサンタの帽子折れて垂れ 久里寿満寿三太九郎の富礼前途  
肉屋の子にもパン屋の子にもクリスマス クリスマスケーキの箱のその後かな



peace!



聖夜、聖菓、聖樹、  
サンタ等も含む

2022年12月25日

Hi-uni 10B

2022 全然堂歳時記冬【大根】20句

2022年12月3日発 10行2段12ボ桐10

根つからの大根畑でありにけり 尾の如く垂れて荷台の大根の葉  
大根の白を育む緑の葉 軽トラの身を大根で埋めけり  
清白と書いてもみたき大根かな 健気なりコンクリートも大根も  
大根は寒さの冬に肩出して 大根があれば何とか成りさうな  
大根を抜きつ大根抜かれつつ 大根や輪切り千切り桂剥き  
大根もその抜け穴も濡れてをる 大根をすんとすんと輪切かな  
あな暗し大根ぬきたる大根畑 大根に千六本といふ奢り  
大根を抜かれし畑の乱れかな ライオンは食はぬ大根我は食ふ  
大根を抜いて鍛へし腕とも 油揚と和布も少し大根汁  
流れ行く大根もあり驚きぬ お大根さめますよああありがたう



peace!



だいこん  
だいこん

Hi-uni 10B  
2022年12月3日

2022 全然堂歳時記 冬【蜜柑】 20句

2022年12月11日発

10行2段12ポ桐10

旅行けば駿河の国に蜜柑の香色と香の蜜柑の君を待つ炬燵  
蜜柑山あれに見えるは電車ぢやないか幼子の正座の如し蜜柑置く  
冬の山なれどニコニコ蜜柑山籠城や炬燵に蜜柑積み上げて  
金山に勝る黄金の蜜柑山やすらかや蜜柑に淡き花の跡  
細道の坂道ばかり蜜柑山裏打のもやもやもまた蜜柑なり  
おむすびもみかんもころりころりんと団欒に刃物は無用みかんむく  
蜜柑山沖の漁船も日を浴びて幼子が母に剥きやる蜜柑かな  
選果機に蜜柑ころころころころすしりとり悔しさに剥く蜜柑かな  
コンビニへ一寸みかんの香をまとひ団欒の後の蜜柑の皮と香と  
湯の宿に足を伸ばして蜜柑むく蜜柑箱あけたる蓋の裏に黴



peace!



みかん

2022年12月11日



2018 全然堂歳時記 冬【水仙】 15句

2018年2月13日 20:38

10行2段 桐9

真つ青な水仙畑花を待つ 水仙の切られし跡も雪に消ゆ  
真つ直ぐに伸びて水仙花はまだ 賀と書いて賀状なりけり水仙花  
すらり立つ給水塔も水仙も 硝子戸の中の正月水仙花  
荒れ狂ふ水仙のある岬かな 水仙や部屋に吊りたる濡れタオル  
海荒れて水仙の首飛びさうな 水仙を生けて古りゆくものばかり  
希臘にも神々多し水仙花  
白と黄は菊にもあれど水仙花  
白と黄の和して同ぜず水仙花  
すばすばと水仙を切る缺かな  
水仙を切つてぼたぼたしてゐたる

白と黄の

和して同ぜず

水仙花

モリドエジ

2018  
2.13